

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(*)

平成30年度 維持管理状況(5月1日～31日)＜工場設置計器の測定結果＞より

① 豊島清掃工場 2号炉5月14日(月) 2:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で231ppmを記録した。

原因は、焼却炉に投入されたごみ質の急激な変化により、燃焼が不安定になったことによる。

一次燃焼空気量の調整及び流動化制御装置の設定変更による炉内砂の流動化の促進、

炉床水噴霧量の調整、助燃バーナの運転、ごみ投入ゾーンの変更により燃焼改善を図った。

その結果、維持管理計画値以下の正常な燃焼状態に回復した。